

## Injury Alert (傷害速報)類似事例

ベビーチェアの回転式テーブルに挟まれて受傷した手指外傷(No.26 ベビーカーによる手指切断の類似事例 8)

事例	基本情報	年齢：1歳 8か月 性別：男児 体重：9.3kg 身長：80.0cm
	家族構成	父、母、本児
	発達・既往歴	乱視
臨床診断名		左示指末節骨開放骨折
医療費		外来 6,470円 入院 182,430円
原因対象	対象名称	回転式テーブル付きベビーチェア (図1) 外形寸法幅 540 mm × 奥行 536 mm × 高さ 801 mm 素材：天然木(ラバーウッド), ウレタン樹脂塗装
	入手経路 使用状況	入手経路不明 自宅リビングで使用
発生状況	発生場所	自宅のリビング
	周囲の人 周囲の環境	母と本児は自宅にいた。母はリビングが見える構造になっているキッチンに、本児はリビングにいた。
	発生年月日	2022年5月X日(土) 午後7時20分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	リビングにて、本児が回転式テーブル(重さ1.5kg)を備えたベビーチェアの左側に立位でいた。そのあと、図1-bの状態から自身で回転式のテーブルを右手で持ち上げ、手を離れた際に左示指をテーブルとそれを支える木製のストッパーとの間に挟み受傷した(図1-cで再現)。母は本児がテーブルを持ち上げる時は確認しているが、自身の手元を見ていたため実際の現場は目撃していない。テーブルの倒れる音がした後、本児の泣き声が聞こえた。母がすぐに見に行くと、本児は立位で左示指をテーブルとストッパーの間に挟んだ状態でいた。 テーブルにはロック機能は備わっておらず、受傷の原因となったストッパー部の床からの高さは650mmであった。

<p>医療機関受診時以降の治療経過 転帰</p>	<p>左示指の中節部から爪床にかけて半断裂を認めた。(図 2) 示指爪体は脱臼しており、末端側に付着していた。 X 線写真では末節骨末梢部の骨折を認め、創内で末節骨の露出を認めた。 屈筋腱は末節骨に付着しており、動脈、神経損傷は認めなかった。 末節骨先端と爪床を合わせるように皮下縫合と表皮の単一結節縫合を行い、爪体は元の位置に整復後に縫合を行った。(図 3) その後の外来フォローでは特記すべき合併症なく創部は改善傾向である。</p>
<p>キーワード</p>	<p>ベビーチェア、回転式テーブル、手指外傷</p>



(1-a).回転前の状態



(1-b).回転式テーブルのストッパー



(1-c).受傷時の再現

【図 1】受傷の原因となった回転式テーブル付きベビーチェア



【図 2】初療時の創部



【図 3】処置後の創部(側面)